



一般社団法人

神奈川県中小企業診断協会

経営支援のエキスパート集団

～中小企業経営の専門家として、県内企業の成長戦略に伴走します！～



目次

■ 神奈川県中小企業診断協会の理念と目的	... P.5
■ 神奈川県中小企業診断協会65年の歩み	... P.6
■ 診断士の基本スキルを社会貢献活動として発揮	... P.7
■ 神奈川県内の行政における数多くの実績	... P.8
■ スキルアップによる組織能力の強化	... P.9
■ 会員同士のつながりによるチーム力強化	... P.10
■ 情報発信によるPRと会員活動の支援	... P.11



ご挨拶



代表理事・天満正俊

当協会は、昭和32(1957)年5月に社団法人中小企業診断協会(当時)神奈川県支部として産声を上げました。以来、65年以上の長きに亘って、中小企業・小規模事業者の診断・助言・支援を行う中小企業診断士の神奈川県における団体として活動が続けております。平成24(2012)年4月に一つの法人として独立した後も、一貫して神奈川県内の中小企業・小規模事業者の診断・助言・支援を行う「専門家(エキスパート)集団」として、地域社会と産業の振興に、多種多様な活動を通じて貢献しております。

こうした歴史を紡ぎてこられたことは、当協会あるいは当協会の会員診断士が、中小企業・小規模事業者の皆さまや事業者様を支援する支援機関、地方自治体や中央官庁などの皆さまに「必要な存在」であると認めていただけていたからこそ、改めて当協会および当協会の会員診断士に対してご理解・ご支援をいただいております皆さまに心より御礼申し上げます。

令和時代を迎えて、中小企業・小規模事業者を取り囲む経営環境は、一層高度かつ複雑なものとなることが見込まれます。かのチャールズ・ロバート・ダーウィンが『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である』と述べているように、当協会あるいは当協会の会員診断士は、神奈川県内の中小企業・小規模事業者の皆さまが、著しく変化していく時代の中で、より能動的に商品・サービスの開発や新たなアイデアを創出し、以て持続的発展できるようにするための助言・支援プロセスを確立することを通じて、引き続き地域の社会・経済等の「公益に貢献」する使命を果たしてまいります。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。



800+

私たち中小企業診断士は、 「中小企業の経営課題に対して診断 し助言を行う」経営の専門家です。

当協会の理念

多様性を持つ「専門家(エキスパート)集団」として、地域社会と産業の振興に貢献します。

当協会の目的

地域社会と産業の振興に貢献する活動を通じて、当協会に属するすべての中小企業診断士の資質向上を図ることにより、中小企業診断士の認知度向上を図ります。

当協会のビジョン

- ・ 会員診断士が拠り所として集う「サードプレイス」の創造
会員が学び、交流し、実践できる場を提供し、相互刺激と協働を通じて、中小企業診断士としての成長と専門性の向上、そして会員同士のつながりを促進させています。
- ・ 地域経済を導く「産業振興シンクタンク」への進化
地域経済の発展に貢献するため、診断士の専門性を結集し、調査研究・提言・実践を通じて課題解決を図る産業振興の知的拠点を目指しています。



神奈川県中小企業診断協会 65年の歩み

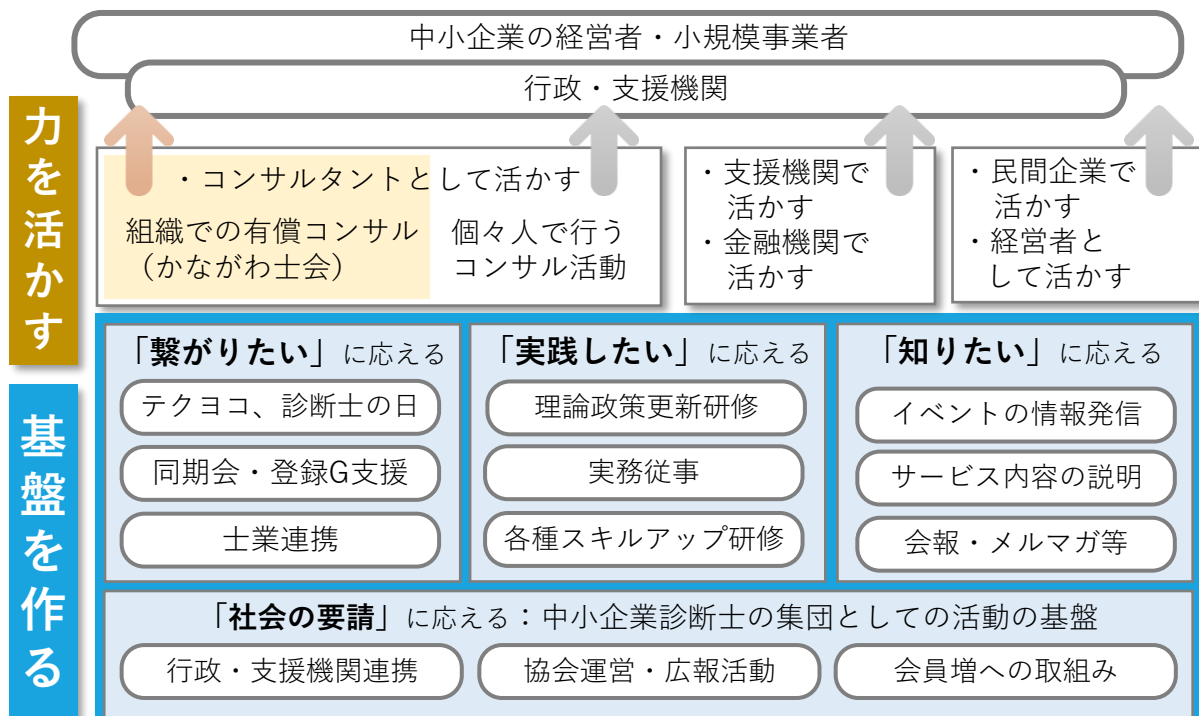
昭和32 (1957) 年	中小企業診断協会 神奈川支部として発足
平成 6 (1994) 年	同期会の設立、会報誌「コンサルかながわニュース」を初発刊
平成20 (2008) 年	テクニカルショウヨコハマへの出展を開始
平成24 (2012) 年	一般社団法人神奈川県中小企業診断協会として法人化
平成25 (2013) 年	神奈川県信用保証協会と包括契約を締結
平成26 (2014) 年	株式会社八千代銀行（現：株式会社きらぼし銀行）と「包括的連携・協力に関する協定書」を締結 株式会社神奈川銀行と「包括的連携・協力に関する協定書」を締結 横浜市信用保証協会と業務提携契約を締結
平成27 (2015) 年	湘南信用金庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結 かながわ信用金庫と「中小企業支援等の協力に関する覚書」を締結 川崎市信用保証協会と業務提携契約を締結
平成28 (2016) 年	株式会社横浜銀行と「包括的業務連携・協力に関する協定書」を締結
平成29 (2017) 年	平塚信用金庫と「包括的連携・協力に関する協定書」を締結 「新人歓迎会」を「神奈川スプリングシンポジウム」に改称
平成31 (2019) 年	収益事業を担う一般社団法人神奈川中小企業診断士会を設立
令和元	スキルアップに向けた「スターターキット研修」「実践塾」を開始
令和 2 (2020) 年	ホームページを全面リニューアルし情報発信を強化 「診断士活動プレゼン大会」を開始
令和 3 (2021) 年	公益推進部を新設し、行政との連携を強化 「専門道場」開始、「かながわ社長塾」開始、「メルマガ」配信開始
令和 6 (2024) 年	横浜市と震災時の産業ワনストップセンターの運営協力に関する協定を締結
令和 7 (2025) 年	神奈川県とSDGs推進に係る連携と協力に関する協定を締結

「オールかながわ」の取り組み

かながわ士会

県協会

神奈川県中小企業診断協会（県協会）と、収益事業を担う神奈川中小企業診断士会（かながわ士会）は、連携して「オールかながわ」として、神奈川県下および周辺地域の中小企業のさまざまなニーズに応える幅広いコンサルティングサービスを提供しています。



診断士の基本スキルを社会貢献活動として発揮

私たちは、診断士の基本スキルである「診る」「話す」「書く」の実践の場をさまざまな連携を通して創造することで、行政のみならず、事業者さまと直接接点を持つことを社会貢献活動として進めています。

無料経営相談会への取り組み

テクニカルショウヨコハマ、中小企業診断士の日イベント、創業支援相談会、14土業連携での無料経営相談会を実施。毎回20件～30件以上の経営者からの相談に対応しています。企業からさらに詳しい話を聞きたい要望があれば、継続的なフォローアップ支援も行っています

セミナーへの取り組み

テクニカルショウヨコハマ出展では、ブースにて毎年、会員による経営ミニセミナー3日間を通して約30本実施しています。販路拡大、補助金・資金調達、人材採用、新しい働き方、新商品開発など、中小企業が直面するさまざまな経営課題の解決へのヒントをお伝えしています。

SDGsプロジェクトでは、SDGsをテーマとするセミナー講師を各地の地方自治体へ派遣しております。また、プロジェクト自らが主催者となり、神奈川県と共同でセミナーも開催いたしました。今後さらにプロジェクトでは、SDGs普及のため自主開催セミナーを、積極的に開催する予定です。

大学等の教育機関に、寄付講座のご提供を行っています。学生が授業で習う理論が、実務ではどう生かされているのか、「知識の海から実践の大地へ」と題して、中小企業診断士が導く実践的ビジネス講座を今後拡大してまいります。

動画配信の取り組み

テクニカルショウヨコハマや診断士の日イベント開催に合わせ、当協会会員によるセミナー動画を制作し、ホームページ上でオンラインセミナーとして公開しています、

外部メディアへの寄稿の取り組み

当協会会員が、経営支援の現場で経験しているリアルな事例を、中小企業の経営者や県民の皆さんに広く伝えるために、外部メディアへ寄稿として発信しています。



神奈川県内の行政における数多くの実績

神奈川県中小企業診断協会は、中小企業診断士として社会の要請に応える活動を実践しています。令和3(2021)年度からは、「公益に資する事業」への組織的な取り組みも開始しました。各地方自治体からも継続案件および新規案件の引き合いをいただき、これに応えることで、関係性を強化しながら、行政・支援機関とともに中小企業の支援を行っています。



政策の検討・実現における支援

行政の政策検討への参画、政策実現に向けた支援を行っています。例えば、事業者への資金貸出制度の見直し、行政の事業者認定制度への応募者ヒアリングや選定への意見書作成、事業承継実態調査におけるアンケート分析・事業者ヒアリング、IT導入や企業間連携に向けた専門家の推薦、指定管理者選定委員会等の委員候補者推薦紹介など、様々な場面で行政・支援機関と連携しています。

商店街振興への支援

商店街活性化に向けて、商店街ヒアリング等による課題抽出と支援を行っています。具体的には、アンケート分析とヒアリングに基づく商店街の実態調査、業界新聞への掲載記事執筆、補助金申請事業者の事業計画に対する意見書作成、商店街活性化に向けたコンサルティングなどを行っています。

SDGs活動普及促進への取り組み

SDGs活動普及促進への取り組みを通して、県内の中小企業の振興に貢献することを目的に、SDGs活動の事例集作成、セミナー、個社支援に取り組んでいます。2025年2月、神奈川県と『SDGs推進協定』を締結し、連携を強化することによって、神奈川県内の中小企業振興により一層貢献する活動をすすめています。

神奈川県下の観光業への支援活動

神奈川県の観光産業の発展に寄与することを目的に、(公益社団法人)神奈川県観光協会/かながわDMOとの連携による調査活動、調査報告書の作成を行っています。また、観光産業に関わる市町村・地域観光協会との協業活動発掘にも取り組み、観光産業への支援の場をひろげています。

かながわビジネスオーディション協賛

例年かながわビジネスオーディションに協賛団体として参加。ビジネスオーディションにおいては、新規性・独創性、市場性・将来性、実現可能性、社会・経済への貢献の観点から、神奈川県中小企業診断協会賞として、クリスタル楯を贈呈しています。

スキルアップによる組織能力の強化

行政や支援機関と組織として連携し、中小企業を継続的に支援していくために、スキルアップ・人材の育成への取組み、最新・現場の知識充足、実践の場提供など、組織能力を向上するための取組みを行っています。

基礎知識の充実を図る「スターターキット」

神奈川県で診断士活動を始める方を対象に「スターターキット」を開催。会員診断士により、「知っておくべき法律知識」「各種支援機関と支援組織」「診断士のためのITツール」をテーマに基礎知識の充実を図っています。

実践力の向上を図る「新実践塾」

相互啓発による実践力の向上を目的に、「新実践塾」を開催しています。事例中心の講義、講師による問題提起、受講者同士の意見交流で構成し、様々なバックグラウンド、経験、強みを持つ県協会会員の知見を共有する機会となっています。例えば、「公的支援機関での窓口相談」「生産プロセスの大幅改善による生産性向上」「事業再構築補助金の申請支援」「起業・創業の悩みに耳を傾ける課題解決伴走」「事例で学ぶ事業再生・経営改善入門」などのテーマで実施しています。

専門力を深掘する「専門道場」

新実践塾が幅広い現場力の向上を目指しているのに対し、専門力の深掘を目的とした「専門道場」を開催しています。例えば、「中小企業の財務諸表の見方」「ネットショップを立ち上げたい」と相談された時の対応」などのテーマで実施しています。

より専門スキルを習得する「マスターコース」

より専門的な知識・スキルの習得を目的とした「マスターコース」を開催しています。「事業承継」「事業再生」「中小M&A」など時流に沿ったテーマを取り上げています。

最新の知識を補充する「理論政策更新研修」

診断士の更新登録要件に対応した理論政策更新研修を実施しています。診断士の講義を中心とする他機関の研修に対し、経営者や他士業、大学教授など多彩な講師陣による実用的な内容が特長で、協会外からも多く参加いただいています。

実践の場となる「実務補習・実務従事」

診断士の資格登録に必要な実践的な経験を積むための実務補習や、企業診断の実務を通じて、診断士としての実践的なスキルを習得し資質向上を図る実務従事を実施しています。



会員同士のつながりによるチーム力強化

中小企業診断士同士のつながりの場の提供、情報共有を通じて、チームとして中小企業を支援するための人脈の形成にも取り組んでいます。また、収益事業を担う当協会会員で構成される神奈川中小企業診断士会とも協力し、幅広い企業支援を実践しています。



神奈川スプリングシンポジウム、秋のオリエンテーション

当協会への入会を検討中の中小企業診断士や既存会員向けに、県協会の活動を紹介するイベントとして、毎年、春と秋に「神奈川スプリングシンポジウム」「秋のオリエンテーション」を開催しています。神奈川県中小企業診断士会と共催して、オールかながわの魅力を伝えるとともに、診断士養成機関とも連携し、会員基盤の充実を図っています。

診断士活動プレゼン大会の開催

神奈川県協会会員の診断士活動の成果発表の場の提供、新たな人脈形成や異なる専門を持つ会員同士の連携機会の提供を目的に、「診断士活動プレゼン大会」を開催しています。毎年100名を超える会員が参加しています。例えば、「工場の現場におけるコロナ対策」「起業家×診断士×地域のシナジー」「診断士がオリジナルコンテンツで稼ぐ方法」「DX化のコンサルティング」「医療・介護経営支援」「コロナ禍での国際展開支援」など、さまざまなテーマで発表が行われています。

同期会の支援

同じ年度に当協会に入会した中小企業診断士で同期会を結成し、「協会活動の起点/人脈形成/学び合う機会」をテーマに1年間の活動を行います。当協会内で充実した活動を行うための指針となる様々な情報を提供するとともに、横のつながりを深めるチーミングの場となっています。

登録グループの支援

令和3(2021)年度現在、当協会には27の登録グループがあり、自主的な研究、企業支援の実践、会員間の交流を行っています。当協会も、神奈川スプリングシンポジウム、秋のオリエンテーション、企業診断ニュース、ホームページ、メール等での情報発信等を通じ、その活動を支援しています。

情報発信によるPRと会員活動の支援

当協会による様々な活動を会報、ホームページ、メルマガ等のメディアを使って情報発信することで協会活動のPRを行うとともに、会員同士の情報共有や事務局業務を通じて、会員の中小企業診断士活動を組織的に支えています。

中小企業診断士の日フェスタ

昭和23(1948)年11月4日、中小企業庁により「中小企業診断実施基本要領」が制定され、「中小企業診断制度」が発足したことを受け、一般社団法人中小企業診断協会では平成28(2016)年よりこの日を「中小企業診断士の日」と制定し、全国PR活動を実施しています。当協会でも、より多くの方に中小企業診断士の社会的役割と活動を知っていただくために、当協会および神奈川中小企業診断士会と連携し、「オールかながわ」での取組みをPRしています。

会報誌の発行

季刊での会報誌を発行し、当協会のイベント、研修等の活動報告を行うとともに、行政や支援機関への取材を通じた中小企業支援の動向をお伝えしています。また、会員の研究テーマの寄稿記事を掲載し、中小企業支援に有益な情報を共有しています。

ホームページ/SNS/メルマガでの情報発信

ホームページ、SNS(Facebook)では、当協会の各種イベントや登録グループ活動、理論政策更新研修の案内等、よりタイムリーな情報発信を行っています。プッシュ型メディアとしてメルマガも発行し、会員の経験やノウハウを整理し、中小企業支援に活かせるノウハウを共有しています。また、経営者・支援機関向けのイベント案内や記事を充実化させ、当協会のブランド向上にも取り組んでいます。

かながわ経営支援チャンネル

理論政策更新研修の中から選りすぐりの講演を動画コンテンツとして編集し、「かながわ経営支援チャンネル」として会員向けに提供しています。無料でいつでも視聴可能であり、専門知識の補充・復習に活用できる補助的な学習ツールとして、会員の資質向上を支援しています。

会員活動を支える事務局業務

事務局では、総会、理事会、賀詞交歓会等の運営取り纏め、決算対応、実務従事ポイントの発行、各種謝金の支払手続き等、当協会の組織としての運営や会員活動を支える様々な業務を行っています。神奈川中小企業診断士会とも連携し、会員の円滑な診断士活動を支えています。





連絡先

一般社団法人神奈川県中小企業診断協会

〒231-0015

神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル12階1201号室

TEL : 045-228-7870

FAX : 045-228-7871

E-mail : info@sindan-k.com

Web : <http://www.sindan-k.com>



発行元：一般社団法人神奈川県中小企業診断協会

印刷所：カイセ印刷株式会社

